

平成29年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉県ことぶき大学校
条例上の設置目的	(ハーモニープラザの設置目的) 社会福祉の増進及び男女共同参画社会の形成の促進を図るため、市民の自主的な活動及び交流の場を提供するとともに、各種の事業を行うこと。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	高齢者が知識や技能を修得し、仲間づくりを行い、学習の成果を地域活動に生かすことなどを通じ、生きがいつくりと地域の活性化を図っていくこと。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が知識・技能を自ら修得できる場を提供すること。 ・地域や多世代の人との交流の場を提供すること。 ・地域活動の担い手となる人材を育成すること。
制度導入により見込まれる効果	学生の満足度が向上する効果及び卒業後の地域活動への参加意欲が向上する効果
成果指標※	① 学生生活において「とても満足している」、「満足している」と答えた人の割合 (卒業時アンケート)
	② 卒業後、地域活動やボランティア活動に参加したいと答えた人の割合 (卒業時アンケート)
	③ 卒業生のアンケートで地域活動・ボランティア活動に「現在、継続的に参加している」「たまに、参加することがある」と答えた人の割合 (卒業後3年まで)
数値目標※	① 90%以上
	② 90%以上
	③ 60%以上
所管課	保健福祉局高齢障害部高齢福祉課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	千葉市ハーモニープラザ管理運営共同事業体（代表団体：社会福祉法人 千葉市社会福祉事業団）
構成団体 （共同事業体の場合）	社会福祉法人 千葉市社会福祉事業団
	社会福祉法人 千葉市社会福祉協議会
	公益財団法人 千葉市文化振興財団
主たる事業所の所在地 （代表団体）	千葉市中央区千葉寺1208番地2
指定期間	平成28年4月1日～平成30年3月31日（2年）
選定方法	非公募
非公募理由	千葉市ハーモニープラザは、平成28年度から平成29年度の2年間において、施設全体のあり方を検討・調整することとしており、次期指定管理者の選定にあたっては、指定期間が原則の5年間より短い2年間であっても安定した施設運営が可能な団体を暫定的に選定する必要があることから、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第2条第3号の規定に基づき、非公募で選定を行うこととした。
管理運営費の財源	指定管理料

3 管理運営の成果・実績

（1）成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	H29年度実績	達成率※
学生生活において「とても満足している」、「満足している」と答えた人の割合（卒業時アンケート）	90%以上	98.01%	108.90%
卒業後、地域活動やボランティア活動に参加したいと答えた人の割合（卒業時アンケート）	90%以上	89.40%	99.33%
卒業生のアンケートで地域活動・ボランティア活動に「現在、継続的に参加している」「たまに、参加することがある」と答えた人の割合（卒業後3年まで）	60%以上	82.49%	137.48%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

（2）その他利用状況を示す指標

指 標	H29年度実績
定員	210人
応募者数	258人
入学者数	197人
卒業生数	172人

※募集受付は平成28年度

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目	H29年度	【参考】 H28年度	計画実績差異・要因分析			
			差異		主な要因	
指定管理料	実績	32,289	31,953	実績－計画	0	計画の精査による
	計画	32,289	31,953	計画－提案	△ 4,651	
	提案	36,940	37,203			
利用料金収入	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
その他収入	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
合計	実績	32,289	31,953	実績－計画	0	
	計画	32,289	31,953	計画－提案	△ 4,651	
	提案	36,940	37,203			

イ 支出

(単位：千円)

費目	H29年度	【参考】 H28年度	計画実績差異・要因分析			
			差異		主な要因	
人件費	実績	13,986	13,543	実績－計画	△ 501	非常勤職員賃金差額
	計画	14,487	14,889	計画－提案	△ 302	計画の精査による
	提案	14,789	14,742			
事業費	実績	10,811	10,813	実績－計画	△ 880	講師謝礼の単価差額等
	計画	11,691	12,370	計画－提案	△ 4,885	計画の精査による
	提案	16,576	16,389			
事務費（委託費を除く。）	実績	3,615	3,821	実績－計画	△ 59	研修研究費差額等
	計画	3,674	3,111	計画－提案	334	計画の精査による
	提案	3,340	3,578			
委託費	実績	1,259	1,259	実績－計画	△ 3	多世代交流講座調理委託の差額
	計画	1,262	1,262	計画－提案	△ 24	
	提案	1,286	1,262			
その他事業費	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	305			
本社費・共通費	実績	1,585	1,258	実績－計画	410	事業区分間繰入金支出の増
	計画	1,175	321	計画－提案	226	事務局経費按分額の変更
	提案	949	606			
合計	実績	31,256	30,694	実績－計画	△ 1,033	
	計画	32,289	31,953	計画－提案	△ 4,651	
	提案	36,940	37,203			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

千葉県社会福祉事業団の各事業予算額に応じて按分

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目		H29年度	【参考】 H28年度
自主事業収入	実績	262	271
その他収入	実績	0	0
合計	実績	262	271

イ 支出

(単位：千円)

費目		H29年度	【参考】 H28年度
人件費	実績	79	74
事務費	実績	0	
管理費	実績	0	
委託費	実績	0	
使用料	実績	0	
事業費	実績	180	197
利用料金	実績	3	0
その他事業費	実績	0	
本社費・共通費	実績	0	
合計	実績	262	271

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

該当費目なし

(3) 収支状況

(単位：千円)

		H29年度	【参考】H28年度
必須業務	収入合計	32,289	31,953
	支出合計	31,256	30,694
	収支	1,033	1,259
自主事業	収入合計	262	271
	支出合計	262	271
	収支	0	0
総収入		32,551	32,224
総支出		31,518	30,965
収支		1,033	1,259
利益の還元額		0	0
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

評価項目	市の評価	特記事項
学生生活において「とても満足している」、「満足している」と答えた人の割合（卒業時アンケート）90%の達成	B	成果指標の達成率が目標値を上回っており、かつ、昨年度より達成率が3.9ポイント上昇した。
卒業後、地域活動やボランティア活動に参加したいと答えた人の割合（卒業時アンケート）90%の達成	C	昨年度と同様に、成果指標の達成率は概ね目標値に達した。
卒業生のアンケートで地域活動・ボランティア活動に「現在、継続的に参加している」「たまに、参加することがある」と答えた人の割合（卒業後3年まで）60%の達成	A	成果指標の達成率が目標値を大きく上回っており、かつ、昨年度より達成率が11.08ポイント上昇した。

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）

B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）

C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満

D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満

E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	A	提案額比で12.6%削減されている。

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

A：選定時の提案額から10%以上の削減

B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減

C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減

(D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)

－：対象外（市の指定管理料支出がない。）

(3) 管理運営の履行状況

評価項目		自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理		C	C	
市民の平等利用の確保				
関係法令等の遵守 リスク管理・緊急時対応				
2 施設管理能力		C	C	
(1) 人的組織体制の充実				
管理運営の執行体制				
必要な専門職員の配置				
従業員の能力向上				
(2) 施設の維持管理業務				
施設の保守管理				
設備・備品の管理・清掃・警備等				
3 施設の効用の発揮		C	C	<p>・提案以上の施設で広報資料を配架している。</p> <p>・ボランティア体験の開催回数・参加者数が増加したことは評価できるが、入学者の減少については原因を分析し対応する必要がある。</p> <p>・卒業生へのアンケート結果については評価できるが、全体としては、概ね基準どおりに管理運営が行われていた。</p>
(1) 幅広い施設利用の確保				
開館時間・休館日				
利用料金設定・減免				
利用促進の方策				
(2) 利用者サービスの充実				
利用者への支援				
利用者意見聴取・自己モニタリング				
(3) 施設における事業の実施				
施設の事業の効果的な実施				
自主事業の効果的な実施				
4 その他		C	C	
市内業者の育成				
市内雇用への配慮				
障害者雇用の確保				
施設職員の雇用の安定化への配慮				

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
 D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
 E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
財務状況については、特段の問題はないと認められる。 管理運営については、概ね適切に管理が行われている。	平成28年度	—

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	在学生及び卒業生に対する書面によるアンケート調査																																																																															
	回答者数	<ul style="list-style-type: none"> ・在学生：対象者延べ535人、回答者延べ475人、回答率88.8% ・卒業生(平成23年度以降の入学生)：対象者948人、回答者467人、回答率49.3% 																																																																															
	質問項目	<ul style="list-style-type: none"> ・在学生：ことぶき大学校の満足度、学校行事の満足度、学習成果等 ・卒業生(平成23年度以降の入学生)：地域活動やボランティア活動への参加状況等 																																																																															
<p>【1学期】 地域活動実践講座について</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>やや不満</th> <th>不満</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボランティア活動と生きがい</td> <td>34.3%</td> <td>49.1%</td> <td>6.5%</td> <td>0.6%</td> <td>9.5%</td> </tr> <tr> <td>市民主体のまちづくり</td> <td>24.9%</td> <td>53.8%</td> <td>11.8%</td> <td>0.6%</td> <td>8.9%</td> </tr> <tr> <td>区別活動団体紹介・交流会</td> <td>34.3%</td> <td>49.1%</td> <td>8.9%</td> <td>0.6%</td> <td>7.1%</td> </tr> <tr> <td>地域ボランティアのすすめ</td> <td>32.5%</td> <td>46.7%</td> <td>6.0%</td> <td>0.6%</td> <td>14.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【2学期】 (1) 学校行事について</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活用度</th> <th>十分できた</th> <th>まあまあできた</th> <th>あまりできなかった</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大学祭(企画参加)のためのLHR</td> <td>33.5%</td> <td>59.4%</td> <td>5.8%</td> <td>1.3%</td> </tr> <tr> <td>スポレクについてのLHR</td> <td>40.6%</td> <td>51.0%</td> <td>5.2%</td> <td>3.2%</td> </tr> <tr> <th>時期</th> <th>適切</th> <th>早かった</th> <th>遅かった</th> <th>無回答</th> </tr> <tr> <td>大学祭(企画参加)のためのLHR</td> <td>80.7%</td> <td>10.3%</td> <td>4.5%</td> <td>4.5%</td> </tr> <tr> <td>スポレクについてのLHR</td> <td>87.1%</td> <td>4.5%</td> <td>5.2%</td> <td>3.2%</td> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>適切</th> <th>多かった</th> <th>少なかった</th> <th>無回答</th> </tr> <tr> <td>大学祭(企画参加)のためのLHR</td> <td>72.9%</td> <td>8.4%</td> <td>11.0%</td> <td>7.7%</td> </tr> <tr> <td>スポレクについてのLHR</td> <td>85.2%</td> <td>2.6%</td> <td>6.4%</td> <td>5.8%</td> </tr> </tbody> </table>								満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	ボランティア活動と生きがい	34.3%	49.1%	6.5%	0.6%	9.5%	市民主体のまちづくり	24.9%	53.8%	11.8%	0.6%	8.9%	区別活動団体紹介・交流会	34.3%	49.1%	8.9%	0.6%	7.1%	地域ボランティアのすすめ	32.5%	46.7%	6.0%	0.6%	14.2%	活用度	十分できた	まあまあできた	あまりできなかった	無回答	大学祭(企画参加)のためのLHR	33.5%	59.4%	5.8%	1.3%	スポレクについてのLHR	40.6%	51.0%	5.2%	3.2%	時期	適切	早かった	遅かった	無回答	大学祭(企画参加)のためのLHR	80.7%	10.3%	4.5%	4.5%	スポレクについてのLHR	87.1%	4.5%	5.2%	3.2%	回数	適切	多かった	少なかった	無回答	大学祭(企画参加)のためのLHR	72.9%	8.4%	11.0%	7.7%	スポレクについてのLHR	85.2%	2.6%	6.4%	5.8%
	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答																																																																												
ボランティア活動と生きがい	34.3%	49.1%	6.5%	0.6%	9.5%																																																																												
市民主体のまちづくり	24.9%	53.8%	11.8%	0.6%	8.9%																																																																												
区別活動団体紹介・交流会	34.3%	49.1%	8.9%	0.6%	7.1%																																																																												
地域ボランティアのすすめ	32.5%	46.7%	6.0%	0.6%	14.2%																																																																												
活用度	十分できた	まあまあできた	あまりできなかった	無回答																																																																													
大学祭(企画参加)のためのLHR	33.5%	59.4%	5.8%	1.3%																																																																													
スポレクについてのLHR	40.6%	51.0%	5.2%	3.2%																																																																													
時期	適切	早かった	遅かった	無回答																																																																													
大学祭(企画参加)のためのLHR	80.7%	10.3%	4.5%	4.5%																																																																													
スポレクについてのLHR	87.1%	4.5%	5.2%	3.2%																																																																													
回数	適切	多かった	少なかった	無回答																																																																													
大学祭(企画参加)のためのLHR	72.9%	8.4%	11.0%	7.7%																																																																													
スポレクについてのLHR	85.2%	2.6%	6.4%	5.8%																																																																													

(2) 専門講座について

	福祉施設実習 ①②	手話を学ぼう 手話の 基本 1・2	残存能力を 生かす(リ ハビリ) [演 習]	身体調整ト レーニング 3	レクリエー ション技術2 福祉施設実習 [演習]
福祉健康学科 特によかったと思う講 座で回答が多かったも の(複数回答)(全15 講座)	43.9%	40.4%	38.6%	36.8%	36.8%
	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
園芸学科 授業の内容	37.3%	52.9%	9.8%	0.0%	0.0%
園芸学科 授業の進度	35.3%	56.9%	5.9%	0.0%	1.9%
美術学科 授業の内容 や進み具合	33.3%	37.5%	16.7%	0.0%	12.5%
陶芸学科 授業の内容 や進み具合	26.1%	34.8%	34.8%	0.0%	4.3%

結果

(3) 地域活動実践講座について

	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
卒業生による活動発 表・交流会	35.5%	47.1%	4.5%	0.0%	12.9%
活動体験報告会につい て ※陶芸学科を除 く。	34.1%	50.0%	5.3%	0.0%	10.6%

【3学期】

(1) 教育目標について

ア 自己の教育	はい	いいえ	無回答・その他
基本的な知識や技能が習得できた	85.4%	9.3%	5.3%
卒業後も学び続けたい	92.0%	4.0%	4.0%
イ 地域や多世代の人との交流	はい	いいえ	無回答・その他
いろいろな活動を通して、多世代(異年齢)の人と 触れ合うことができた	86.1%	7.3%	6.6%
ウ 地域社会への参加と仲間づくり	はい	いいえ	無回答・その他
仲間ができた	94.7%	4.0%	1.3%
生きがいがあった	77.5%	15.2%	7.3%
エ 地域活動・ボランティア人材育成	はい	いいえ	無回答・その他
地域のことに関心をもつようになった	92.7%	6.0%	1.3%
社会参加の大切さを学んだ	93.4%	3.3%	3.3%
ボランティアが身近に感じられるようになった	92.7%	5.3%	2.0%
卒業後、ボランティア活動に参加したい	89.4%	6.6%	4.0%

(2) ことぶき大学校の満足度について

	とても満足	満足	不満	とても不満	無回答・その他
学生生活の満足度について	29.1%	68.9%	1.3%	0.0%	0.7%
専門講座の満足度について	22.5%	70.2%	5.3%	0.0%	2.0%
地域活動実践講座の満足度について	11.3%	73.5%	8.6%	0.0%	6.6%

【卒業生アンケート】

地域活動やボランティア活動への参加状況

	回答率 (全体)	回答率 (卒業後3年間)
現在継続的に参加している	63.6%	68.5%
たまに参加することがある	14.8%	14.0%
現在はほとんど参加していない	16.0%	11.3%
参加したことはない	5.6%	6.2%

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
【市】 なし	—
【指定管理者】 なし	—

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

<p>総括 評価</p>	<p>C</p>	<p>所見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に基づき、施設の目的・目指すべき方向性を踏まえ適正に事業を実施した。 ・広報においては、平成28年度の広報活動で応募件数への効果が確認できなかったチラシ配布・ポスター掲示・地域情報誌での広報を見直し、新聞の広告掲載を増加させたほか、リーフレット・募集要項の作成・配付に注力し、リーフレットを学生募集時だけでなく通年にわたって配付した。また、募集要項をよりイメージが伝わりやすいようカラー刷りにし、内容も見直して、配付数を7000部から9000部へ増やした。以上の取り組みから応募者確保を目指したが、平成30年度学生募集では定員を満たすことはできなかった。 ・アンケート等の結果を考慮し「各専門講座」及び「地域活動実践講座」の見直しを行った。福祉健康学科では昨年度卓球の授業中に転倒事故があったことから、ラージボール卓球に変更し、事故再発を防止した。また、学生が簡単なレクリエーションができることを望む声の特養や地域のサロン等の実習先からあったことから、レクリエーションの授業を増やし、充実した実習を行い卒業後の活動継続を目指した。「地域活動実践講座」では、平成28年度まで行っていた約30の地域活動団体の紹介に加えて、さらに28団体と自由に交流できる講座を設け、その後の見学・体験につながるように仕組みづくりを行い、見学や体験希望者の増加に繋がった。 ・「ボランティア体験」の事業では、夏休み期間を利用する企画を継続して実施したほか、実施種類と回数を増やし（29回から32回）、体験者数も345人から433人と増加した。 ・「ボランティア相談」については、通常の学生全員ミーティングや随時の相談の他に、昨年度始めた「コーディネーターとのお話し会」を継続して実施し、卒業後の活動についてなどの相談を行った。 ・卒業後の地域活動の支援を継続することを目的に、卒業生対象の講演会を行い、卒業生120名が参加した。この際、地域包括ケアやボランティアコーディネート事業について周知を行った。 ・年度末の学生アンケート結果においては、約9割の学生が各教育目標に基づく質問に「はい」と回答していることから、教育目標は達成できたと考える。 ・学生生活において「とても満足している」や「満足している」と答えた人の割合が98.0%、卒業後の「地域活動やボランティア活動に参加したい」と答えた人の割合が89.4%であることから、学生の在校時の満足度を保ちながら、地域活動への参加意欲を向上させることができたと考えられる。ただ、「とても満足」の回答が昨年度の42.1%から29.1%に減少しており、満足度自体は低下しているといえる。 ・卒業生を対象としたアンケートで、「地域活動・ボランティア活動」に関して「現在、積極的に参加している」や「たまに、参加することがある」と答えた人の割合（卒業後3年まで）が82.4%であることから、参加意欲向上のみならず、実際に地域で活動する人材の育成に繋がっていると考える。
------------------	----------	-----------	---

(2) 市による評価

<p>総括 評価</p>	<p>C</p>	<p>所見</p>	<p>入学者の減少については原因を分析し対応する必要がある。 在学生及び卒業生のボランティア活動に対する支援を積極的に行っているほか、学習内容の改善に努めており、また、在学生の満足度も高く、良好な管理運営が行われていると認められる。</p> <p>・平成29年度に募集を行った平成30年4月入学者は、平成29年4月入学者に比べ、減少した。そのため、入学辞退者の辞退理由や、近隣で開講されている類似の講座の応募状況等を踏まえ、原因を分析し、対応していく必要がある。</p> <p>平成30年4月入学：応募者数185人（前年度比▲73人）、入学者数155人（前年度比▲42人）、定員充足率73.8%（前年度比▲20.0%） 平成29年4月入学：応募者数258人、入学者数197人、定員充足率93.8%</p> <p>・在学生のボランティア活動については、ボランティア体験会を定期的に、また、学生の都合がつきやすい大学の夏季休暇期間中に多く実施したこと、ボランティア体験会の回数を増やしたこと、学生のニーズに応じたボランティア相談の受付、ボランティアコーディネーターとの話し会を実施したこと等により、活動の促進に向けて積極的に支援した結果、成果目標が概ね達成されている。</p> <p>・卒業生のボランティア活動については、初めて卒業生を対象とした講演会を開催し、120人の卒業生が出席した。卒業生に対して講演を聴く場を設けたりボランティアコーディネート事業の周知を行うことは、卒業生のボランティア活動のきっかけ作りや、モチベーションの維持に資すると考えられることから、今後の継続実施が望まれる。</p> <p>・カリキュラムについては、平成29年度から、講師より講座計画書の提出を受けている。講師が行いたい講座の概要や目標が明確に示されることで、大学がよりの確に学習補助を行えるようになったほか、関連する複数の講師間での情報共有が行えるようになり、授業の改善効果が認められることから、今後の継続実施が望まれる。</p> <p>・在学生に対するアンケート調査の結果によると、在学生の満足度は高く、また、仲間づくりの促進、ボランティア活動を行う人材の育成等の教育目標が概ね達成されている。</p>
------------------	----------	-----------	--

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会の意見

- ・財務状況については、本部会に提出された財務諸表等の資料を確認した範囲では、倒産や撤退等のリスクは認められず、特段の問題はないと認められる。
- ・管理運営については、ボランティア活動等の参加率が非常に高いことについて評価できるが、次の事項に留意されたい。
 - ①入学者数の減少に対する対応策について検討していただきたい。
 - ②ボランティアに積極的にかつ継続して関わっていただけるような仕組みづくりに努めていただきたい。